

## 「第18回 すわ大昔フォーラム」

シリーズ 諏訪学③ <オンライン限定講座>

### 諏訪上社前宮「御室(みむろ)」の考古学的考察

令和3年3月7日(日) 午後2時00分～3時30分

YouTube(ユーチューブ)から生配信します!

諏訪市公式YouTubeチャンネルから視聴できます。

< <https://youtu.be/hm8fshsi6eY> >



「御室(みむろ)」は、中世、諏訪上社の年75回の神事中、年末から翌年の3月まで、前宮において厳冬期の三ヶ月間の重要神事が行われた神居・神殿である。なかでも前宮の社殿を神居とする御左口神(ミサグチ神)を、竪穴構造の土中の御室へ迎え入れて祀ることや、小蛇や大蛇の蛇形を入れ、御左口神とともに「そそう神」を祀る祭祀は、諏訪上社の原始性や古層を示すともいわれている。果たして御室とはどのような建築構造物なのか…。実体の明らかでない御室について考古学的観点から考察してみたい。

【講師】 鵜飼 幸雄 先生 (前茅野市尖石縄文考古館館長)

1954年、長野県茅野市生まれ。立正大学文学部史学科考古学専攻卒業。前茅野市尖石縄文考古館館長。縄文時代を中心に考古学研究を進め、主な著書に、『国宝土偶「縄文ビーナス」の誕生―棚畑遺跡(シリーズ「遺跡を学ぶ」)』など。



◇ 聞き手 石埜 三千穂 (スワニミズム事務局長)

◇ コメンテーター (オンライン参加) 田中基(元 どんめん編集長)他

※本講座は、オンライン限定です。「YouTube 諏訪市公式チャンネル」より視聴してください。なお後日、録画映像も同チャンネルよりご覧いただけます。また、ケーブルテレビ「LCV」でも講座番組化を予定しています。

【お問い合わせ先】 諏訪市博物館 TEL 0266-52-7080/FAX 0266-52-6990  
メール [suwamu@city.suwa.lg.jp](mailto:suwamu@city.suwa.lg.jp)  
ホームページ <https://suwacitymuseum.jp>